文化財総合的把握モデル事業
中間報告　H22.7.28
【秋田県北秋田市】

「秋田県北秋田市歴史文化基本構想（素案）」の概要

文化財把握調査

国

県

市

指定文化財

指定調査

把握文化財

把握調査

未把握文化財

構想化

基本構想骨子

・データベース作成
- 把握の継続

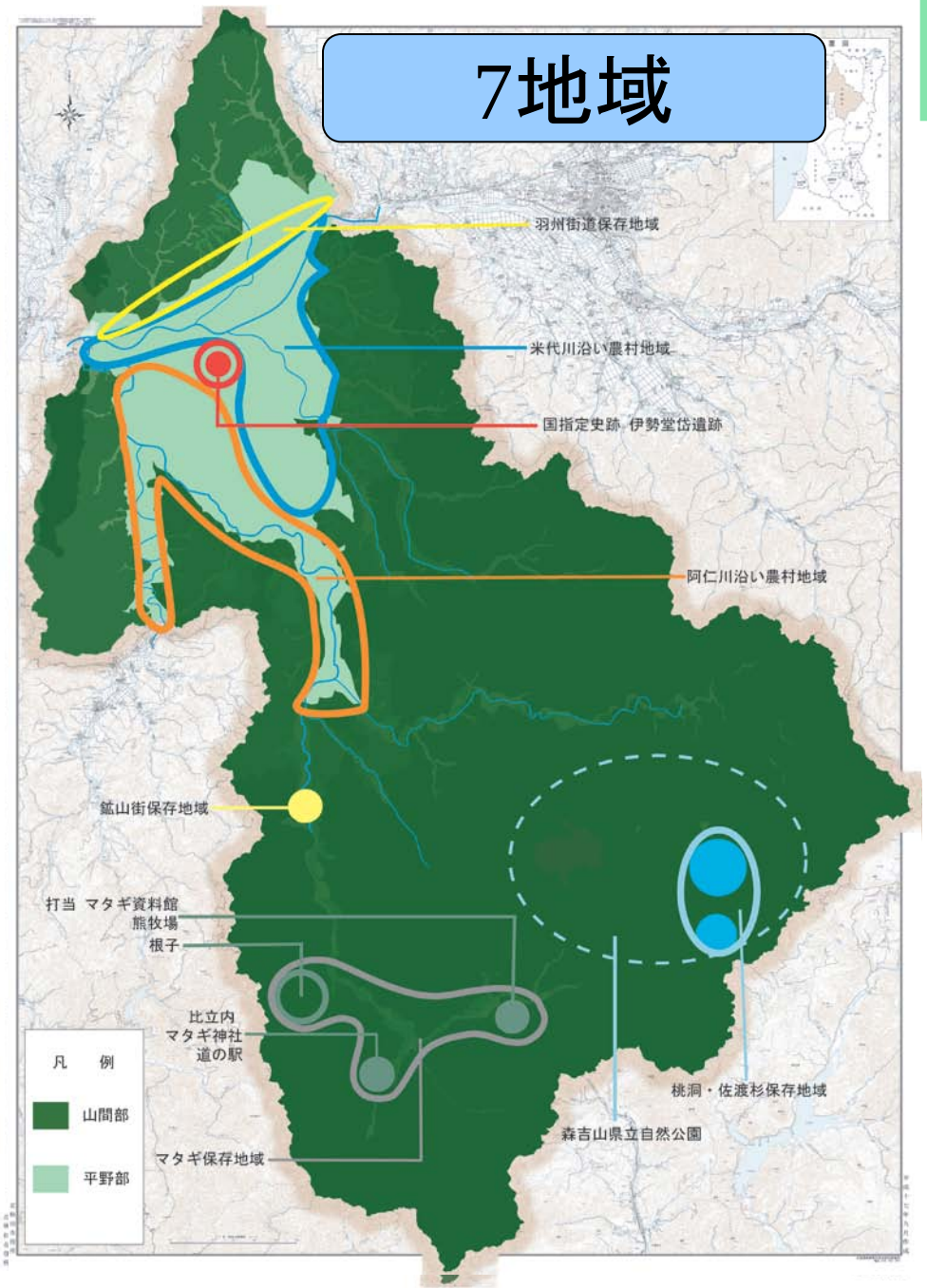
・歴史文化地域における保存活用区域の設定と保存活用計画の策定
- 計画的保存活用

・連携・支援・教育・住民参加
- 地域文化は地域が守る

・公開と活用
- 交流人口と経済寄与

・コーディネート機能の整備
- 円滑な推進

秋田県北秋田市歴史文化基本構想（素案）概要 （全体把握）



平野部
～豊かな自然に拓かれた地域～

- 羽州街道保存地域
- 米代川沿い農村地域
- 国指定史跡　伊勢堂岱遺跡
- 阿仁川沿い農村地域

歴史的経緯を継承する整備保存

水・石・木材・鉱物・産物

山間部
～自然・天然資源に恵まれた地域～

- 鉱山街保存地域
- 秋田杉（桃洞佐渡杉）保存地域
- マタギ保存地域

自然・自然と共生する暮らしの維持保存

「秋田県北秋田市歴史文化保存活用計画」策定の考え方

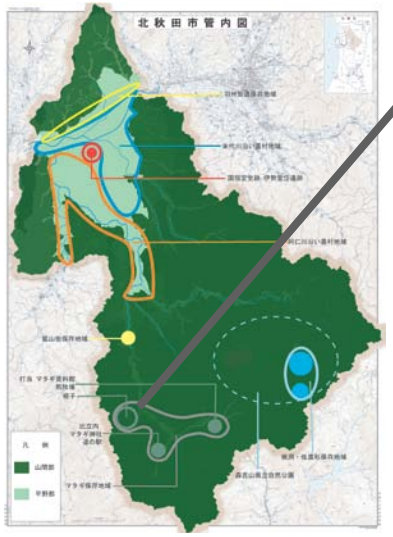
文化財ととりまく周辺環境を一体的に保存・整備するための保存活用計画

・保存地域を代表する区域の設定
・核となる文化財
・周辺環境（生活を含む）、景観との関連性が重要

・市民との協働体制の整備

・保存理念の明記
・核となる文化財の保存計画・整備・　伝承施設・核心地区等
・環境、景観の保存計画・整備　・　現況保存（保存地区）、景観保存（景観地区）、教育・交流地区等
・市民との協働体制の整備

根子
・マタギ
保存区域
（素案）



根　子
～山間集落と狩猟文化～

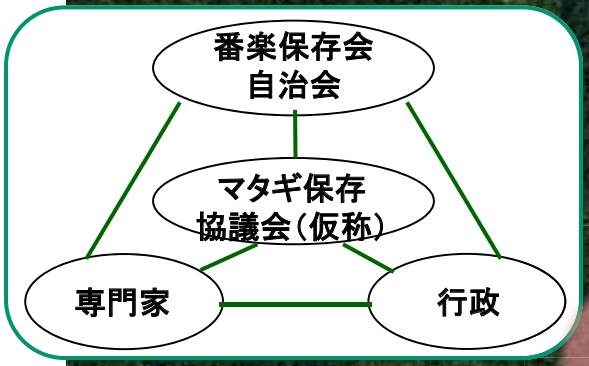
■景観構造
トンネルを抜けた展望台から根子集落を眺める。
背後には1,000mほどの山々を配し、流れ出る沢水、渓流を利用した棚田が拓かれ、それより低地に集落が配置される。背後の山々は林業生産・焼畑・狩猟活動の場として利用されるほか、峠道によって近隣の村々との連絡を確保している。
一瞬、桃源郷に迷い込んだのではないか、と思わせる別世界。四方山に囲まれた家々が、肩を寄せ会っている。車は、水すましのように走っている。人は、落人が住んでいた隠れ里という。昔、主としてマタギ（狩猟）で暮らした人たちが、水を引き、棚田を拓いてきた。山の幸、川の幸に恵まれ、熊の胆などの行商を営み、儲けたお金で教育に惜しみなくつぎ込んだ。いま72軒、180人と少ないが、昭和25年ころは、炭鉱が盛んで716人もいた。

■地勢・地域性
・位置：北緯39°65′、東経140°24′、標高190～200m
・阿仁川支流根子川上流域、山肌の傾斜地に集落と農地が拓かれている。
・北秋田市の阿仁部は、三方1000メートルクラスの山に囲まれている。山々が行く手をはばみ、さらに、トンネルをくぐっていくと、たたずむ集落が根子である。ここをくぐると棚田がみえる。山間部という地理的理由から根子集落は閉鎖的かというイメージをうけるが、実際はマタギから関係する行商などを通して情報、現金収入を得ていた。この行商の影響より根子からの大学進学者が多いと地域住民はいう。
平成21年度72世帯180人が住んでいる。半数近くが65歳以上の高齢者であるが、昭和25年に炭鉱があったころは、716人も住んでいた。
昭和50年トンネルが開通してから歩いて山越えして打当、比立内へ行くことがなくなり、車で病院へ行くようになった。盆のころ帰省した子供たちが来ると、根子番楽を見て元気を取り戻していく。

■暮らしの暦の特徴・要素
山の幸、渓流の幸や焼畑から得られる産物により、農地の少なさを補うに余りある。また、冬は豪雪地域である利点を活かして、番楽、狩猟などが展開される合間に、除排雪や内仕事をおこなう。

	春	夏	秋	冬	周年
（生産）			焼畑・野焼き・そば		稲作作業
	山菜		木の実・きのこ		
	イワナ・ヤマメ・ドジョウ			凍み大根	
			タニシ・柿の葉		
	熊巻狩り			兎・冬猟	
（食）			かじか・棒鱈　いなごの佃煮		
	味噌作り			ハタハタ寿司	
（住）				踏み俵・薪運び	機織り
				わら細工	富山・滋賀の薬
（行事）	まとび			鳥追い	
		番楽		番楽	
（その他）				雪	

・保存理念：マタギに代表される狩猟、採集活動等、周囲の山々に多くの活動領域を持ち、民俗芸能等の活動により集落コミュニティを保持する典型的な山間集落として、自然と共生する生活様式を総合的に保存する
・奥山保存地区：持続的な狩猟採集活動を可能にする多様な自然を保存する区域
・里山保存地区：針葉樹、薪炭林等里山機能を保存する区域
・農地景観地区：棚田、棚畑等生産活動の場および里山と集落の緩衝地帯としての機能を保存する区域
・生活景観・交流区域：山間集落としての生活、番楽等を保存する区域とし、交流・公開の場とする
・市民との協働体制：番楽保存会、専門家、行政による協議の場



番楽伝承館
（仮）

農地景観地区

生活景観・交流地区

里山保存地区

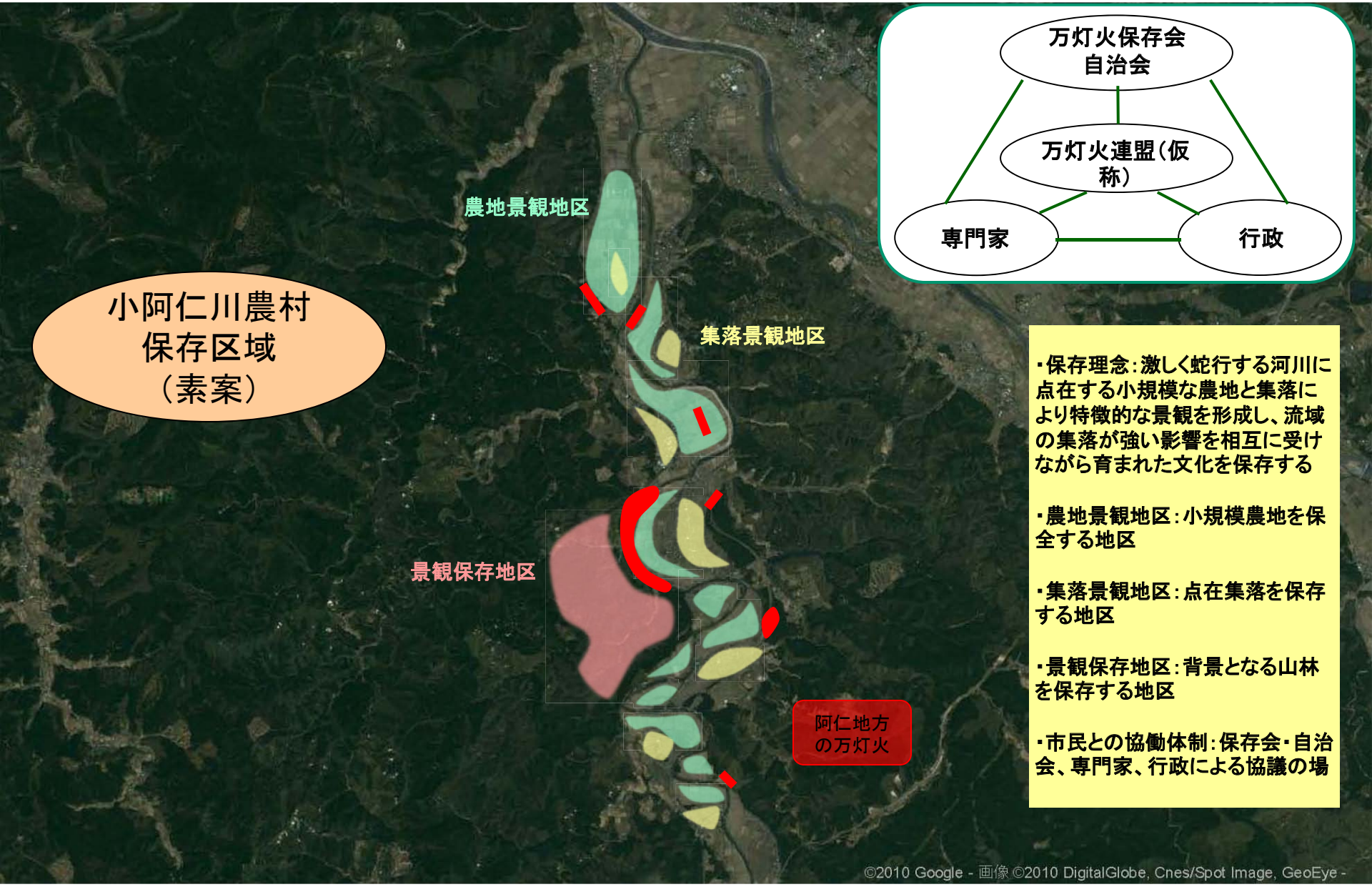
奥山保存地区

根子・マタギ
保存区域
（素案）

「秋田県北秋田市歴史文化保存活用区域」策定の考え方及び範囲素案（未定稿）

©2010 Google - 画像 ©2010 DigitalGlobe, Cnes/Spot Image, GeoEye -

「秋田県北秋田市歴史文化保存活用区域」策定の考え方及び範囲素案（未定稿）



・保存理念：激しく蛇行する河川に点在する小規模な農地と集落により特徴的な景観を形成し、流域の集落が強い影響を相互に受けながら育まれた文化を保存する

・農地景観地区：小規模農地を保全する地区

・集落景観地区：点在集落を保存する地区

・景観保存地区：背景となる山林を保存する地区

・市民との協働体制：保存会・自治会、専門家、行政による協議の場

「秋田県北秋田市歴史文化保存活用区域」策定の考え方及び範囲素案（未定稿）

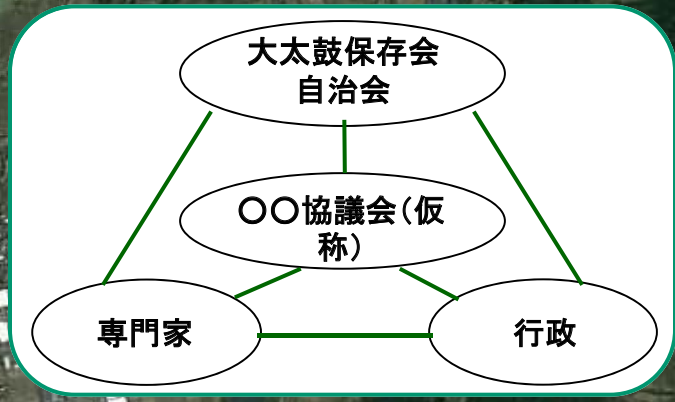
街道保存地区

大太鼓
の館

教育・交流地区

羽州街道
保存区域
（素案）

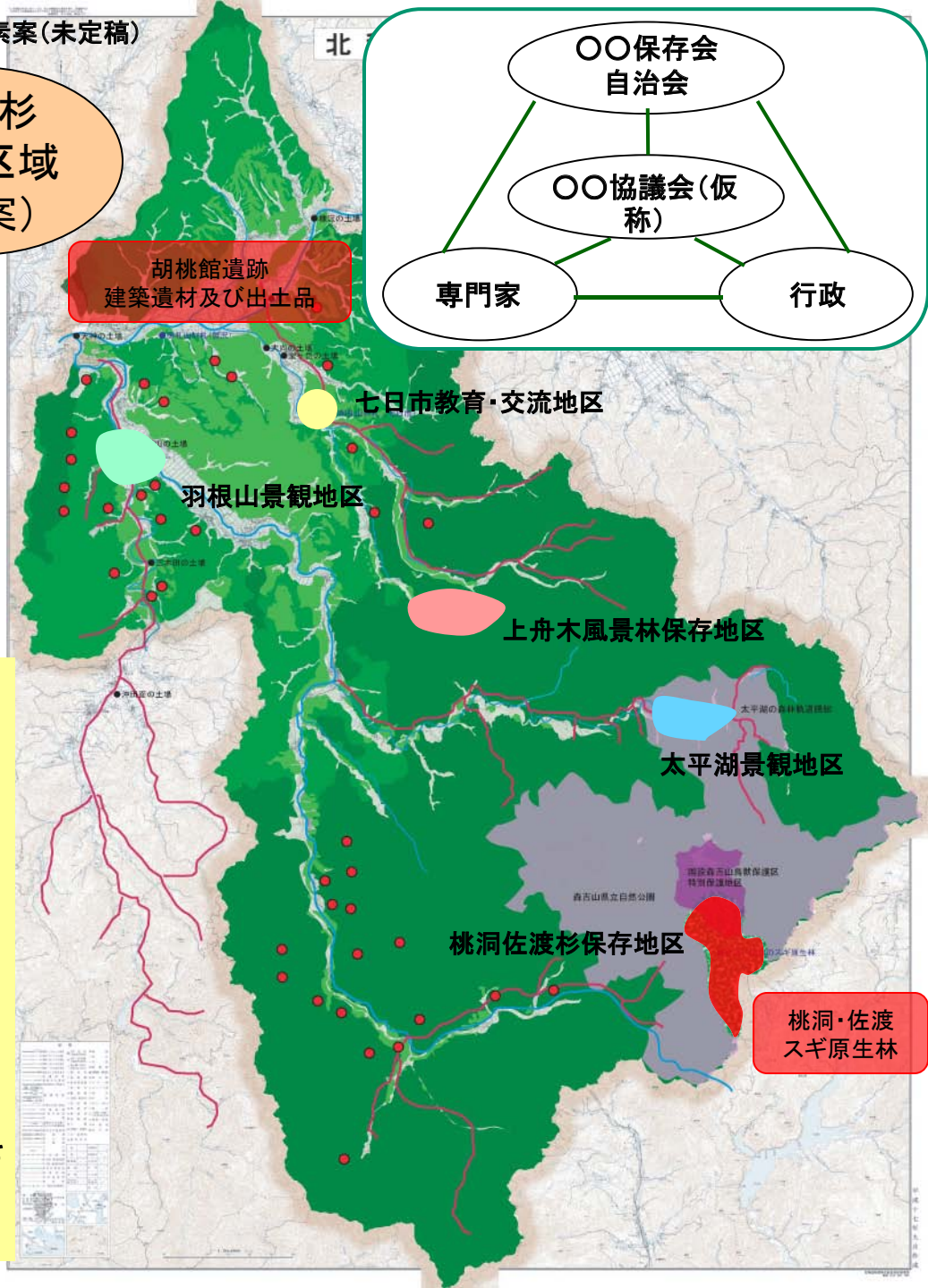
農地景観地区



・保存理念：旧街道沿いに発達した町並みと、そこに継承されてきた大太鼓等の習俗について、当該地域の発達を支えた周辺農地の景観とともに一体的に保存する
・街道保存地区：陣屋、綴子神社等を核とする旧街道町を保存する地区
・農地景観地区：街道と一体をなす景観保存する地区
・教育・交流地区：街道および沿線の習俗を広く伝える地区
・市民との協働体制：保存会・自治会、専門家、行政による協議の場

「秋田県北秋田市歴史文化保存活用区域」策定の考え方及び範囲素案（未定稿）

秋田杉保存区域（素案）



・保存理念：かつては市内全域に繁茂していた秋田杉の名残を伝える原生林と市内に点在する古代から現代に至る秋田杉の利用の歴史を伝える景観を総合的に保存する。

・桃洞佐渡杉保存地区：秋田杉の原生林として保存する地区

・上舟木風景林保存地区：秋田杉の原生林が残るものの、一部かつて舟材を伐出した森林として保存する地区

・太平湖景観地区：森林軌道跡が残存する景観を保存する地区

・羽根山景観地区：小阿仁川、阿仁川からの木材の集積跡（土場）と背後の御札山の景観を一体的に保存する地区

・七日市教育・交流地区：御札山の制札をはじめ、往時の肝煎と林政を伝える地区

・市民との協働体制：保存会・自治会、専門家、行政による協議の場